

関鍛冶伝承館 企画展
関の刀職者たちの技
～平成27年～30年度赤羽刀修復を通じて～
を開催します

第二次世界大戦直後に、GHQによって約20万点もの日本刀の接收が行われました。その大半は海洋投棄や焼却などによって失われてしまっていますが、廃棄を免れ、昭和22年に日本へ返還されたものを「赤羽刀」といいます。

その後、旧所有者への返還が行われましたが、所有者の判明しなかったものについて、平成11年までに全国の公立博物館へ無償譲渡されることとなりました。関市は美濃刀を中心に、全国で最も多い480点の譲渡を受けました。こうして譲渡を受けた赤羽刀は、錆や痛みが生じたものが多く、関市の刀職者団体である関市刀剣研磨外装技術保存会に依頼し、順次、赤羽刀の修復を行っています。

本企画展では、平成27年～30年にかけて、新しく修復を行った赤羽刀を展示するとともに、その修復に携わった関市刀剣研磨外装技術保存会の刀職者をあわせて紹介します。赤羽刀の修復・保存・活用といった事業にご理解をいただくとともに、現代の刀剣文化に携わる関の刀職者について広く周知したいと考えます。

関市で新たに購入した
刀剣を同時展示！！

若狭守藤原氏房作 薙刀（特別貴重刀剣）



刃長61.3cm 反り3.11cm 柴田勝家や谷干城の所用品と伝わる

和泉守藤原兼定作 短刀（重要刀剣）



刃長26.5cm 内反り 関鍛冶を代表する2代目兼定「之定」の名品

1. 主催 関市
2. 協力 関伝日本刀鍛錬技術保存会
3. 会期 平成30年12月22日(土)～平成31年3月4日(月)
4. 開館時間 午前9時～午後4時30分
5. 休館日 火曜日・祝日の翌日(いずれも休日を除く)
6. 会場 関鍛冶伝承館 2階展示室
7. 入館料 大人 300円 高校生 200円 小中学生 100円
(団体料金 大人 250円 高校生 150円 小中学生 50円)



〈本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先〉

関鍛冶伝承館 担当：江西 / 産業経済部観光課 担当：土屋

TEL/FAX：0575-23-3825

TEL:0575-23-7704 FAX：0575-23-7741